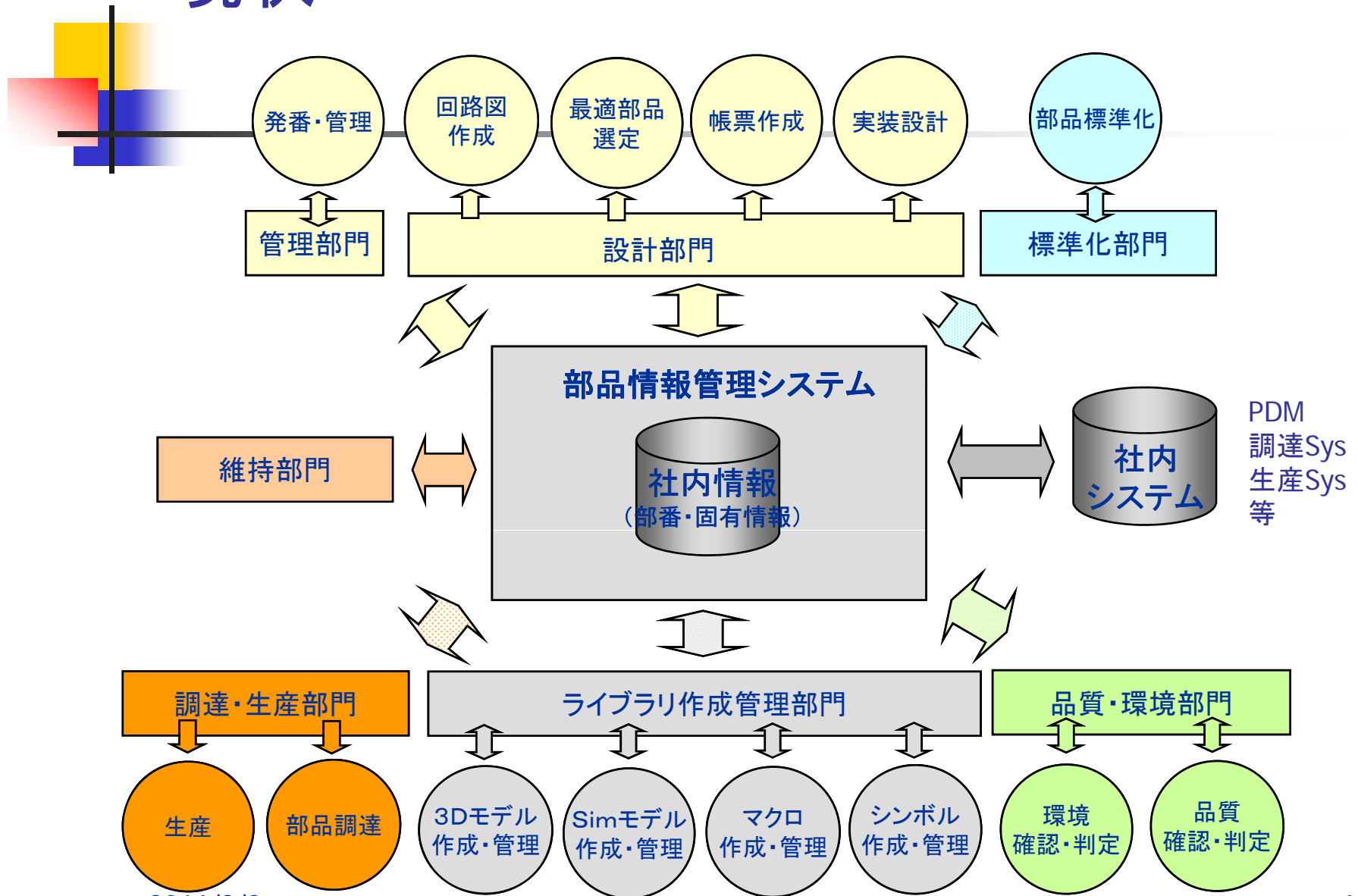




R&R活用について

キヤノン株式会社
古知屋 寛

現状





部品情報管理システム

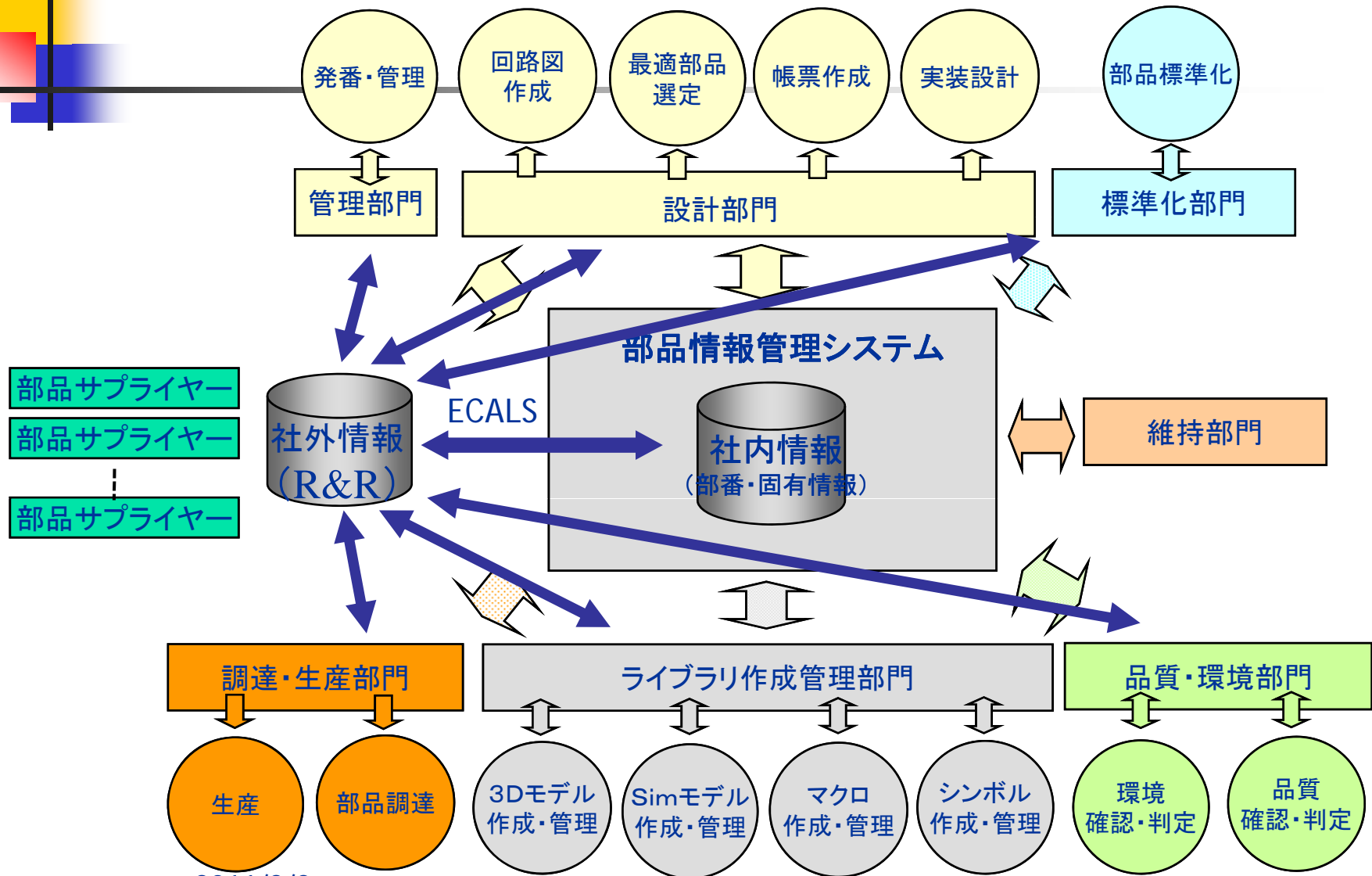
- キヤノングループ全体で利用(基幹システム)
- ECALSを参考とした部品情報DB
- 会社とメーカー型名で一意(発番・管理)
- 管理している情報
 - ・部品番号
 - ・定格情報(サイズ・パッケージを含む)
 - ・推奨情報(推奨地域、コスト、調達コメント)
 - ・使用禁止情報(代替部品情報、禁止理由など)
 - ・カタログ
 - ・環境、品質情報
 - ・各システム連携情報



部品情報管理システムを取巻く課題

- **情報の入手や交換が非効率**
⇒多くの入手ルートや方法が存在している
- **情報共有が不十分**
⇒個人や組織内で保持されている
- **情報の鮮度・精度・量が不十分**
⇒最新情報や変更情報、海外部品の情報
- **情報の維持、管理の工数大**

活用方法



2011/3/2



活用概要

- **情報の入手や交換の効率化**
⇒入手ルートや方法の一元化
- **情報の共有**
⇒必要な人/組織で情報共有
- **情報の鮮度・精度・量の確保**
⇒最新情報や変更情報、海外部品の情報
- **情報の維持、管理の効率化**
⇒部品情報管理システムのコンテンツ充実と維持、クリーニング



活用テーマ

- 部品の標準化 — 部品の集中(メーカ/仕様)化
- 生産中止部品対応 — 採用制御とライフサイクル
- 新規発番の効率化 — ECALS情報の活用
- 情報の精度向上 — ECALS情報の取り込み
- 各種帳票の自動生成 — 部品表などの自動生成
- 各種規制の対応 — 法規制(環境、安全規格など)
- 各種コンテンツの充実 — 形状、フットプリント、
Simモデルなど



R&Rへの要望

■ しくみ

- ⇒標準化機関(JEITAなど)との連携強化
- ⇒海外との連携強化(中国、韓国など)
- ⇒情報共有・制御、セキュリティ機能強化(ID仕様)

■ コンテンツ

- ⇒部品サプライヤーの拡大(特に海外サプライヤー)
- ⇒部品コンテンツの充実(環境情報、安全規格など)
- ⇒DB連携の強化(部品技術情報の拡大)



まとめ

課題を解決し、テーマを遂行していくための、
手段としてR&R(RISE)を検討しています！

多くのサプライヤ各社のご理解とご協力をお願いします！！

